

- ① … 昌平、2度目のチャレンジは2回戦止まり～第96回全国高等学校サッカー選手権大会～
- ② … 平成29年度市町FA理事長会議・4地域連絡協議会・運営会議合同会議開催
- ③ … 第11回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会～12月16日を振り返る～
- ④ … お疲れ様でした! 1級審判員 前之園晴廣さん

- ⑤ … 2017年度 JFA・SMC サテライト講座 in 埼玉を開催
- ⑥ … 大会記録●県内大会 2種・3種・4種・女子・フットサル
- ⑦ … 大会記録●県外大会 1種・2種・3種・4種・女子
- ⑧ … 大会記録●県外大会 女子・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

## 昌平、2度目のチャレンジは2回戦止まり ～第96回全国高等学校サッカー選手権大会～

昨年の新人戦から、関東大会、県高校総体、そして県高校選手権とすべての県内大会を制覇した昌平。大宮アルディージャへの加入が決まった佐相壱明選手を中心とした攻撃陣に期待がなかった今大会でしたが、1回戦は突破したものの、2回戦で敗退。序盤の1失点が悔やまれました。

12月31日～1月8日 埼玉スタジアム2002 他

1回戦 昌平 1 - 1 広島皆実  
(4PK3)  
得点者 19分 佐相壱明

2回戦 神村学園 1 - 0 昌平

※優勝は前橋育英。



昌平高校



1回戦 昌平 vs 広島皆実



2回戦 昌平 vs 神村学園

## 平成29年度市町FA理事長会議・4地域連絡協議会・運営会議合同会議開催

12月10日、プリランテ武蔵野において、「平成29年度市町FA理事長会議・4地域連絡協議会・運営会議合同会議」を開催しました。SFAの各委員会、事務局から決定事項について直接、各市町協会の代表者にお伝えしました。特に今期からのスロー

ガンである「試合中 文句を言わない!」への理解をお願いしました。また、会議後は懇親会も開催し、積極的な情報交換ができ、有意義な会となりました。



# 第11回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会 ～12月16日を振り返る～

晴天に恵まれた12月16日、埼玉スタジアムにおいて第11回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会の準決勝と決勝が開催されました。491チームの頂点に立ったのは、大宮アルディージャ Jrでした。

主催 (公財)埼玉県サッカー協会  
 主管 (公財)埼玉県サッカー協会第4種委員会  
 後援 埼玉県/NHK さいたま放送局/テレ玉 FM NACK5/埼玉新聞社

協賛 埼玉縣信用金庫 PUMA VISA GULF HOLLERS JAPAN INC. Astro  
 特別協力 Red Diamonds Airdija

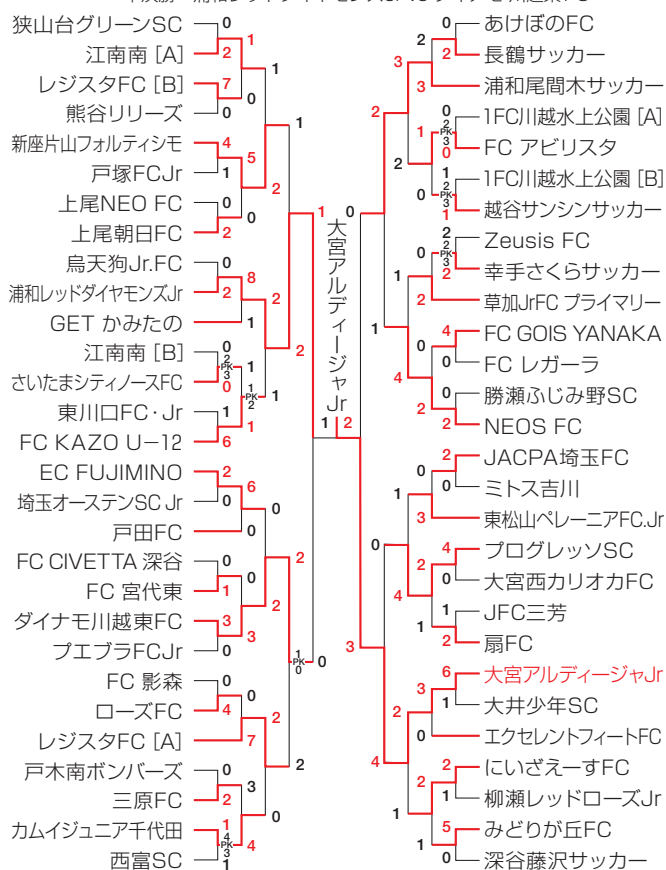


決勝 大宮アルディージャ Jr vs 浦和レッドダイヤモンズ Jr



準決勝 浦和レッドダイヤモンズ Jr vs ダイナモ川越東 FC

準決勝 大宮アルディージャ Jr vs 浦和尾間木サッカー



## 表彰式



優勝した大宮アルディージャ Jr



チャリティー豚汁販売



ミニサッカーゲーム



ミニサッカーゲーム



ココロPK 対決



ココロPK 対決



スタジアム見学ツアー



リーグ戦写真展



PUMA Jr.CAT Program



PUMA Jr.CAT Program

### 宮城・福島・岩手 被災地招待試合

今回も東日本大震災で被災した子どもたちを招待して、県内チームと埼スタのメインピッチで親善試合を行いました。震災を風化させることなく、そして東北3県の子もたちと県内の子どもたちの交流を育んでまいります。



あけぼのFC vs 福島県中トレセン



ティーパーティー



上尾朝日FC vs 古川杉の子SSS



ミトス古川 vs 岩手宮古地区トレセン



また埼スタに戻ってきてほしいと願っています

# お疲れ様でした！ 1級審判員 前之園晴廣さん

先シーズンをもって、前之園さんが1級審判を引退することになりました。副審としてJ2で119試合、J1で98試合を担当されました。審判を目指すきっかけ、1級までの道、そしてこの決断に至った経緯などを語っていただきました。

「審判の2級を取ってくれるか」と言われたのは、27歳になるときでした。埼玉教員クラブ（現、さいたまSC）でプレーしていましたが、当時の県高体連の審判部長だった秋山さん（満氏、埼玉教員クラブOB）から声をかけられたのです。それはある意味、教員クラブから肩を叩かれたということ。決して上手い選手ではありませんでしたが、面白くなかったのは覚えています。当時、一緒に声をかけられたのは私を入れて3人。上條さん（岳氏、県教育委員会保健体育課）と三矢さん（正則氏、県高体連副委員長／朝霞高校）。秋山さんに「イヤ」とは言えずふて腐れていた自分に声をかけてくれたのは先輩の上條さんでした。いや、実際は説教されて、諭されたわけですが（苦笑）。サッカーにおいて審判員は大切な要素であるとか、高体連の大会そのものを考えても上級審判員が必要だから2級を受けろ、いい審判がいないと選手は伸びない……今であれば、当たり前になっていることを上條さんから聞かされたのです。そこから意識は変わり、審判をやっていく中でやりがいを感じられるようになりました。

私は審判というのは、割に合わない仕事だと思っていました。私自身は審判に逆らう選手ではありませんでしたが、試合中に選手から審判が文句を言われているのは間近に見ていました。あの当時は、審判の存在価値を低く見ていたと思います。

3級はすでに持っていましたし、まだ現役でプレーしていたことから2級はすぐに合格できました。試験のクーパー走でガンガン走って注目されたのを覚えています。それから、各大会の上位の試合を担当するようになって意識が高まる中、1級に合格できなかった先輩の姿、50歳近くになっても上手くなろうという先輩たちを見て、自分も一生懸命に審判活動をしよう、1級になりたいと思ったのは、32歳のときでした。

しかし、初めて受験した33歳の年は不合格でした。

「受かって当然」と思っていたのですが、まさかの不合格。その後濱名さん（哲也氏、1級審判インストラクター）につきっきりで指導していただいたところ、独りよがりな部分を指摘されました。確かに「選手よりも走ってあげればいいだろう」「プレーの近くで見ればいだろう」……そういう場面が多く、選手とのコミュニケーションなど試合そのもののマネジメントなど二の次になっていました。自分本位で「選手のために」なんて気持ちのないレフエリングでした。なんというか、恰好つけていましたね。あのとき、濱名さんに指摘していただいたメモは、まだ手元に残しているくらい、自分にとって大事なものになりました。

濱名さんに指導していただいた後、改めて「サッカーってなんだろう」「審判ってなんだろう」というところから学び始め、またちょうど職場が変わったこともあり、少し人間的に成長できたような気がしました。翌年も続けて受験させていただいたことには本当に感謝しましたし、皆さんからの期待に応えるべく、身の引き締まる思いの中でチャレンジし、合格することができました。

2002年からJFL副審、翌年からはJFL主審、Jリーグ副審を担当するようになり、ここまで来ました。当時は、Jリーグの担当をすることが高校の顧問として指導面で還元できると思っていましたし、しなければならぬと思っていました。もちろん国際審判を目指した時期もありましたが、この1級審判としての活動は、本当に贅沢な時間を過ごさせてもらったと思っています。トップレベルの監督がどのように指示を出しているのか、サッカーのトレンドの変化……同様に全国に仲間ができたことは

望外の喜びでもあります。

Jリーグでは副審担当でした。JFL主審を担当した2年目に、当時JFAの審判インストラクターだったレスリー・モットラムさん（スコットランド、元国際審判員）から「ダメ出し」をされたのです。ある試合で「なぜカードを出さなかったのか？」という場面が2度あったのです。私は出さずに「まあまあ」とあいまいな対応でゲームをマネジメントできなかったのです。そこで「お前は（メンタルが）弱い」と。今の若い主審は躊躇せずに出せるかもしれませんが、あのときの私はできませんでした。そういえば試合をマネジメントできなかったのは、埼玉国際ユース（埼玉県選抜 vs ベレス）、仙台カップの決勝戦（U-18ブラジル代表 vs U-18イタリア代表）もありましたね……。

そんな中、42歳でJ1副審に引き上げてもらったのです。40歳を超えての昇格は異例なことでした。改めて、審判を頑張ろうと思った契機でもありました。とはいえ、意気込むこともなく、淡々と担当試合を務めさせてもらいました。ただ……昨年のJ2の讃岐対千葉の試合で、結果的にオフサイドのゴールを認めてしまった場面がありました。主審は後輩の中村（太氏、県スポーツ振興課）。その試合の中で、彼もミスをしてしまったことから、JFAが定期的に開催している審判に関するメディアブリーフィングではミスの事例として挙げられて、残念ながら最後の最後で失敗してしまいました。選手には大変申し訳ないことをしていますし、技術、判断する力が足りなかったことを痛感しています。

さて、J2担当で119試合、J1担当で98試合。J1であと2試合、担当したかったですね。正直、引退は悩みました。あと3年は体力テストをクリアできる自信もあります。しかし、引き際も肝心だと思いましたが、「50歳まで」という目標は達成できませんでした。何よりも決断したのは、「自分のために審判をしているのではない」ということです。可能性のある若手に道を譲るのも、仕事の一つだと思ったのです。

ここまで幸せでした。様々な皆さんからのサポートをいただき、ここまで来ました。本当に感謝しています。これで引退しますが、これからは1級インストラクターとして後進の指導に当たる予定です。県内から一人でも多く、上級審判を目指してほしいものです。

さて、今の悩みは、いつまでトレーニングを続けるかです。今年度いっぱい「1級審判」と言っていいたいことなので、3月までは走ろうと思っています。でも……わからないですね。またしばらく走っている自分がいそうです（苦笑）。

## 【プロフィール】

・1967年（昭和42年）6月4日生まれ、川越市出身。川越西高校～東海大学卒業。大学時代から教員チームでプレーし、32歳で引退。県立和光南養護学校（現：県立和光南特別支援学校）を振り出しに、県立朝霞西高校、県立朝霞高校、県立和光高校を経て、現在は県スポーツ振興課勤務



## 2017年度 JFA・SMC サテライト講座 in 埼玉を開催

1月20、21、27日の3日間、3年振りに「2017年度 JFA・SMC サテライト講座 in 埼玉」を開催しました。受講者は14名と最終日に補講者が2名と少数でしたが、逆に密度の高い講座となりました。受講された皆さんは意識が高く、現状に満足することなく「これから」を念頭にして、熱心に課題に取り込んでいたことが印象的でした。

このサテライト講座は、短期間の中で「ビジョン」、「環境分析」、「コミュニティデザイン」、「SWOT」（外部環境や内部環境を強み、弱み、機会、脅威のカテゴリーで要因分析し、経営資源の最適活用を図る経営戦略策定方法）、「行動計画」、「目標管理」という6つのセッションを受講し、最終的に「何を、いつまでにやるか」という発表を行って終了としています。今まで漠然としていたものを、この講習会の中で具現化して行動に移していただくことが狙いでもあります。また同様に、県内に散らばる種別や立場を超えた仲間づくりとしても、活用してもらっています。様々な意見交換をする中で、埼玉のサッカーがよりよくなっていくことを願っています。ぜひ、修了生の皆さんには交流を深めていただきたいと思います。

ちなみにサテライト講座は、全国から集まる本講座への「呼び水」であるのですが、今年度と来年度と内容をブラッシュアップするために本講座はお休みとなります。また埼玉としては、サテ

ライト講座を隔年開催と考えておりますことをご理解ください。

ただし、これまでの受講者の皆さんとの交流の場を持ちたいと考えております。本講座、サテライト講座修了者の皆さんにお願いします。下記のメールアドレスまで、近況をお知らせください。改めて「仲間づくり」を行い、カテゴリーを超えた繋がりから埼玉のスポーツ環境をよりよくしていきたいと考えております。ご協力をお願いします。（荒川）

※smc@saitamafa.or.jp まで



## 大会記録 ● 県内大会

### 2種

#### 高円宮杯U-18サッカーリーグ2017埼玉県リーグ

●1部・全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	昌平	48	16	0	2	+69
2	西武台	45	14	3	1	+36
3	正智深谷	37	11	4	3	+22
4	浦和東	29	9	2	7	+14
5	浦和南	25	7	4	7	+14
6	武南	24	7	3	8	±0
7	成徳深谷	23	5	8	5	-10
8	埼玉栄	10	3	1	14	-42
9	西武文理	9	2	3	13	-42
10	伊奈学園	5	1	2	15	-61

※優勝した昌平高校はプリンスリーグ参入決定戦に出場。



昌平高校 vs 武南高校

### 3種

#### 高円宮杯U-15サッカーリーグ2017 第10回埼玉県ユース(U-15)サッカーリーグ

●1部・全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	グランデ	39	11	6	3	+18
2	クラブ与野	38	12	2	6	+20
3	ディプロマツ	37	10	7	3	+21
4	1FC	33	10	3	7	+27
5	ペレーニア	33	10	3	7	-2
6	FC深谷	31	9	4	7	+3
7	コルージャ	26	7	5	8	-8
8	HAN FC	25	6	7	7	+3
9	アレグレ	23	6	5	9	-4
10	KASUKABE	13	3	4	13	-32
11	フォルチ	7	1	4	15	-46

●2部・全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	LAVIDA	54	18	0	0	+64
2	武南 Jr	39	12	3	3	+17
3	ASAS	29	8	5	5	+9
4	アスミ	26	8	2	8	±0
5	カムイ Jr	24	6	6	6	-3
6	尾間木中学校	22	6	4	8	-20
7	フェスタ	20	5	5	8	-5
8	プレジール	18	5	3	10	-11
9	成立ゼブラ	14	4	2	12	-18
10	三郷 Jr	7	1	4	13	-33

#### 第6回埼玉県ユース(U-13)サッカーリーグ ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	グランデ	22	7	1	0	+25
2	アレグレ	22	7	1	0	+13
3	FC深谷	16	5	1	2	+9
4	プレジール	14	4	2	2	+4
5	アピリスタ	9	3	0	5	-7
6	HAN	8	2	2	4	-11
7	JOGADOR	7	2	1	5	-9
8	フェスタ	4	1	1	6	-10
9	コルージャ	1	0	1	7	-14

### 4種

#### 第11回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会

11月23日~12月26日

江南南サッカー少年団 [A]	1	浦和尾間木サッカー	3
新座片山フォルティシモ	2	FCアピリスタ	2
浦和レッドダイヤモンズ Jr	2	草加JrFCプライマリー	1
FC KAZO U-12	1	NEOS FC	4
EC FUJIMINO	0	東松山ペレーニアFC・Jr	1
ダイナモ川越東FC	2	プログレッシブSC	4
レジスタFC [A]	2	大宮アルディージャ Jr	2
カムイジュニア千代田	0	にいざえーすFC	1

※優勝は大宮アルディージャジュニア。

### 女子

#### 2017第10回埼玉県サッカー協会会長杯 兼 第39回埼玉県女子サッカー選手権大会

12月7日~17日 東京国際大学他

1回戦	尚美学園大学	3-0	浦和レッズレディースジュニアユース
準決勝	浦和レッズレディースジュニアユース	2-1	尚美学園大学
	武蔵丘短期大学	0-2	東京国際大学
決勝	浦和レッズレディースジュニアユース	2-2	東京国際大学

※両チーム優勝

#### 2017第25回埼玉県女子サッカーリーグ1部 ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	浦和レッズJrY	22	7	1	1	+23
2	東京国際大学	22	7	1	1	+17
3	エルフェン・マリ	19	6	1	2	+20
4	大東文化大学	18	6	0	3	+21
5	DB.FC 楓昂	12	4	0	5	-6
6	白岡SCL	11	3	2	4	-11
7	エルフェン・U-15	10	3	1	5	-10
8	人間向陽高校	9	3	0	6	-5
9	大宮FC.05	9	3	0	6	-6
10	GRAMADO.FC TOKINAN	0	0	0	9	-43

### フットサル

#### SuperSports XEBIO 第17回埼玉県フットサルリーグ1部

●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	烏天狗インベリオ	32	10	2	1	+34
2	デーブルさいたま	30	10	0	3	+33
3	アルティスタ埼玉	24	8	0	5	+15
4	F&F iwatsuki	20	6	2	5	+12
5	AOH	18	6	0	7	+2
6	所沢ブリーフ	17	5	2	6	-10
7	FC九龍	15	5	0	8	-25
8	GRANDE	13	4	1	8	-3
8	コレクション	13	4	1	8	-30
10	G・F・C	9	3	0	10	-28

# 大会記録●県外大会

## 1種・社会人

### 関東サッカーリーグ1部と2部間での入れ替え戦

12月24日 流通経済大学グラウンド

さいたまSC 2-0 東京国際大学FC

※さいたまSCの1部残留、東京国際大学FCの2部残留が決定。

## 2種

### 高円宮杯U-18サッカーリーグ2017プレミアリーグEAST

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	FC東京U-18	39	12	3	3	+15
2	清水エスパルスユース	37	11	4	3	+18
3	青森山田高校	36	11	3	4	+13
4	鹿島アントラーズユース	25	6	7	5	+4
5	柏レイソルU-18	24	6	6	6	-3
6	京都サンガF.C. U-18	23	6	5	7	-10
7	市立船橋高校	21	6	3	9	-5
8	浦和レッドダイヤモンズユース	17	4	5	9	-4
9	大宮アルディージャユース	15	4	3	11	-13
10	横浜F・マリノスユース	12	3	3	12	-15

※大宮アルディージャユースはプリンスリーグ関東へ降格。優勝したFC東京U-18は高円宮杯U-18サッカーリーグ2017チャンピオンシップに出場。

### プリンスリーグ関東・参入決定戦

12月23日 埼玉スタジアム第2グラウンド

1日目 矢板中央 2-0 昌平

※矢板中央と桐生第一がプリンスリーグ関東へ参入する。



昌平 vs 矢板中央

## 2種・クラブ

### 2017Jユースカップ第25回Jリーグユース選手権大会

10月14日~11月19日 長野Uスタジアム他

2回戦 浦和レッズ 2-0 ロアッソ熊本

大宮アルディージャ 2-0 ベガルタ仙台

3回戦 大宮アルディージャ 1-3 川崎フロンターレ

鹿島アントラーズ 1-0 浦和レッズ

※優勝は京都サンガ

## 3種

### 2017関東ユース(U-15)サッカーリーグ

順位	Division 1	勝点	勝	分	負	得失差
4	大宮アルディージャJY	39	12	3	7	+17
7	浦和レッドダイヤモンズJY	28	6	10	6	+2

順位	Division 2	勝点	勝	分	負	得失差
4	クマガヤSC	38	12	2	8	+10

### 2017関東ユース(U-13)サッカーリーグ

順位	Division 1 A	勝点	勝	分	負	得失差
7	浦和レッドダイヤモンズJY	15	4	3	7	-9

順位	Division 1 B	勝点	勝	分	負	得失差
1	大宮アルディージャ	29	9	2	3	+9
3	クマガヤSC	23	7	2	5	+4

順位	Division 2 C	勝点	勝	分	負	得失差
1	FC LAVIDA	39	13	0	1	+43

順位	Division 2 D	勝点	勝	分	負	得失差
4	坂戸ディプロマツツ	22	6	4	4	+9

## 4種

### 第41回全日本少年サッカー大会

12月26日~12月29日 鹿児島・鴨池陸上競技場ほか

グループG

大山SSC 0-8 大宮アルディージャ

鳥取KFC 0-7 大宮アルディージャ

本荘南SSS 0-6 大宮アルディージャ

ラウンド16 大宮アルディージャ 2-2 太陽SC

(3PK2)

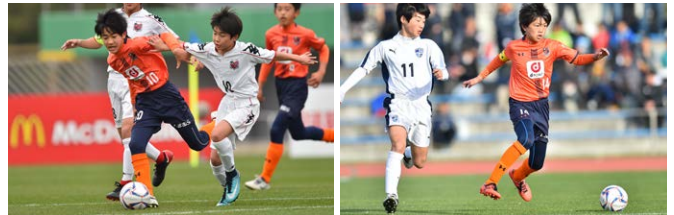
準々決勝 西宮SS 0-2 大宮アルディージャ

準決勝 コンサドーレ札幌 1-0 大宮アルディージャ

※優勝はセレッソ大阪



大宮アルディージャ



準決勝 アルディージャ vs コンサドーレ札幌 準々決勝 アルディージャ vs 西宮 SS

## 女子

### 2017年度第23回関東女子サッカーリーグ

#### ●1部・全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	早稲田大学	31	9	4	1	+33
2	日テレ・メニーナ	27	8	3	3	+19
3	ジェフ市原・千葉レディースU-18	26	7	5	2	+9
4	神奈川大学	22	6	4	4	+11
5	浦和レッズレディースユース	20	6	2	6	+2
6	関東学園大学	17	5	2	7	-14
7	東京国際大学	8	1	5	8	-19
8	筑波大学	4	1	1	12	-41

#### ●2部・全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	東洋大学	32	10	2	2	+26
2	慶應義塾大学	27	8	3	3	+17
3	MITO EIKO FC 茨城レディース	25	8	1	5	+2
4	武蔵丘短期大学シエンシア	20	6	2	6	-4
5	尚美学園大学	19	5	4	5	+2
6	国土館大学	19	6	1	7	-2
7	前橋育英高校	10	2	4	8	-17
8	日本航空高校	6	1	3	10	-24

## 第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

12月30日～1月7日 神戸ユニバー記念競技場他

花咲徳栄 1-2 鳴門渦潮

※優勝は藤枝純真

## JOCジュニアオリンピックカップ

## 第21回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会

1月3日～7日 J-GREEN堺

1 回戦 伊賀FCくのサテライト 0-10 浦和レッズ

2 回戦 アルビレックス新潟 0-4 浦和レッズ

準決勝 セレソン大阪堺 0-0 浦和レッズ  
(7PK6)

3 位決定戦 浦和レッズ 0-3 日テレ・メニーナ

※優勝はジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18

## フットサル

## SuperSports XEBIO 第19 回関東フットサルリーグ 2 部 by PENALTY

●1部・全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	バスカドーラ町田アスピランツ	31	10	1	0	+37
2	バルドラール浦安セグンド	23	7	2	2	+14
2	デルミリオレクラウド群馬	23	7	2	2	+14
4	パディランツァーレ	22	7	1	3	+21
5	FCmm	17	5	2	4	+12
6	Iwatsuki Futsal Club/tzk	14	4	2	5	+2
7	BRB/TANTALUS FUTSAL CLUB	13	4	1	6	0
7	O-PA	13	4	1	6	-7
9	府中アスレティックFCサテライト	11	3	2	6	-9
10	三榮不動産FC宇都宮	10	3	1	7	-18
11	MORANGO栃木	7	2	1	8	-31
12	FUTURO	5	1	2	8	-35

## SuperSports XEBIO 第8 回関東女子フットサルリーグ2017 by PENALTY

●12月16日現在

順位	チーム名	勝点	勝	分	負	得失差
1	フウガドールすみだレディース	27	8	3	1	+33
2	バルドラール浦安ラス・ポニーナス	25	8	1	3	+28
3	VEEX TOKYO Ladies	24	7	3	2	+22
4	さいたまSAICOLO	21	6	3	3	+10
5	カフリンガボーイズ東久留米	13	4	1	6	-13
5	FOREST ANNEX	13	4	1	7	-17
7	the sunkisst	12	3	3	5	-5
8	シュートアニージャ	9	3	0	8	-21
9	FFC Estrela NOVO川口	4	1	1	9	-37

## 第7回神奈川招待選抜フットサル大会

1月6日 富士見市立総合体育館

●女子

埼玉県 14-1 山梨県

埼玉県 6-4 神奈川県

※埼玉県が優勝

●U-23

埼玉県 9-2 山梨県

埼玉県 2-3 神奈川県

※埼玉県は2位。優勝は神奈川県

## インフォメーション

## ●JFAより情報提供

「スポーツにおけるインテグリティの確保に関する緊急会合」開催について

1月18日からスポーツ庁主導のもと、「スポーツにおけるインテグリティの確保に関する緊急会合」が開催されました。日本オリンピック協会、日本障がい者スポーツ協会、日本アンチ・ドーピング機構、日本スポーツ振興センター、日本体育協会から代表者が出席し、スポーツにおけるインテグリティの確保及びドーピング防止活動の推進について、話し合われました。

その中で、スポーツ庁からは

- ・ドーピング防止活動推進法案
- ・スポーツにおける安全管理体制の整備
- ・スポーツにおける暴力の根絶
- ・コンプライアンス確保大綱の充実

についての情報提供及び依頼等がありました。

日本サッカー協会といたしましては、再度襟を正してこうした不祥事の防止に向けた取組を充実させていくところ、各協会におかれましても、本会合の内容をご確認いただき、各都道府県内において周知を図っていただきますようよろしくお願いいたします。

なお、ガバナンス・コンプライアンスの徹底に向けた取組については、昨年作成いたしました「JFAコンプライアンス・ハンドブック」を参照いただくとともに、昨年度より設けております法律相談窓口をご活用ください。

※「インテグリティ」とは、高潔さ・品位・完全な状態、を意味する言葉です。スポーツにおける「インテグリティ」とは、「スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態」を指します。

## ■訃報～野澤昌弘氏、ご逝去

元(公財)埼玉県サッカー協会評議員、元埼玉県社会人サッカー連盟会長でいらした野澤昌弘氏が1月22日に永眠されました。64歳。謹んでご冥福をお祈りします。

前会長 野澤昌弘様のご逝去にあたり、生前のご活躍に感謝し哀悼の意を伝えさせていただきます。

野澤昌弘様は38年前の埼玉県社会人サッカー連盟の開設時から連盟西部地区の事務局を担当し、連盟の設立に寄与するとともに、連盟のこれまでの運営に大変貢献していただきました。上福岡市役所のサッカー部のゴールキーパーとして、上福岡二中のナイターでよく試合をしていたことが思い出されます。

振り返ると、土曜日の夜になると当時理事長であった熊谷市の中山洋氏に集まり、毎週の様に次の大会の会議や運営の打ち合わせや準備をしていました。私は熊谷市に住んでおりますからそんなに苦労は感じませんでしたが、夕方6時ぐらいから夜中の11時、12時ということもありましたので、その時間から上福岡市まで帰るといことはかなり大変なことであったと思います。最近の会議は時間を早く終わらせることを考えて運営していますが、当時は事務局員が少なく、やる事が沢山あり終わらない事もありました。

6年前の2012年より社会人連盟の会長を務めていただきましたが、体調の変化により2年前の2015年度末までご活躍いただきました。晩年は体調を崩し、大会に来られる時も車イスを使うこともありましたが、いつも連盟の運営に寄与していただきました。安らかに眠りください。心よりご冥福をお祈りいたします。

埼玉県社会人サッカー連盟 理事長 天沼達也

遅くなりましたが、今年もよろしくお願いいたします。

まず個人的な話で恐縮ですが、12月から断続的に風邪をひき続けました。年末から各会議、会合に立て続けて欠席しておりますこと、お詫び申し上げます。ちなみにSMCサテライト講座の事務局を仰せつかったのですが、参加者のうち最終日後に風邪、インフルエンザを発症したのが私も含めて5名(他の皆さんは大丈夫でしたでしょうか?)という報告を受けました。今後の開催については、改めて時期を考え

なければならぬと痛感した次第です。

さて、もうすぐJリーグも開幕です。本当年が明けてから時間の経つのが早いのですが、今回はJ1、J2のアベック優勝も期待できます。浦和レッズ、大宮アルディージャの開幕ダッシュを願っています。ぜひ、多くの皆さんにホームゲームを観戦していただきますよう、よろしくお願いいたします。

編集後記